

# 【令和6年度】運動部活動の地域移行に向けた取組み状況について

## 大阪府

### 【地域移行の推進に向けた体制整備の取組み概要】

- 令和5年度に設置をした検討会議を継続して開催し、大阪府内の取組み状況の検証や好事例の普及方策を検討する。
- 府内全域での活用が可能で、広域的な人材の確保とその人材を育成する仕組みとなる新たな人材バンクの構築を行うことで、地域連携・地域移行に取り組む市町村を支援する。
- 大阪府立中学校における生徒の潜在的なニーズの把握や対応を進めるべく、体験教室を開催し、今後の活動機会の確保につなげる。
- 実証事業実施市により得られた成果と課題を広く域内で共有する。

### （運営体制図）



### 大阪府における部活動の地域移行に関する検討会議

- 取組み状況の検証・新たな施策等に向けた協議
- 実証事業における取組みへの指導助言・成果の普及

### 府立富田林中学校

- 府立富田林高等学校野球部OB会を運営団体・実施主体とした地域クラブ活動の実現に向けた体験教室の開催

業務委託

### 実証事業実施市

#### 【継続市】

- |      |   |
|------|---|
| 豊中市  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市ラグビーユニオン・剣道クラブと業務連携</li> <li>● 計2中学校、2部活動を地域移行</li> </ul>                     |
| 箕面市  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 民間企業と業務連携(再委託)</li> <li>● 計8中学校、8部活動を地域移行</li> </ul>                           |
| 守口市  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市スポーツ協会・リトルFC・コスモスポーツクラブ(株)と業務連携</li> <li>● 計5中学校、11部活動を地域移行</li> </ul>        |
| 大東市  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● (株)ユーフォルア・近隣高校・大学と業務連携(再委託含)</li> <li>● 計8中学校、16部活動を地域移行</li> </ul>            |
| 岸和田市 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● FC岸和田・市スポーツ協会・市スポーツ推進委員協議会・大学と業務連携(再委託含)</li> <li>● 計1中学校、1部活動を地域移行</li> </ul> |

#### 【新規市】

- |      |  |
|------|--|
| 池田市  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 計9団体と業務連携(再委託)</li> <li>● 計5中学校、33部活動を地域移行</li> </ul>             |
| 枚方市  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 民間企業と業務連携(再委託)</li> <li>● 計1中学校、3部活動を地域移行</li> </ul>              |
| 門真市  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 計5団体と業務連携</li> <li>● 計4中学校、6部活動を地域移行</li> </ul>                   |
| 八尾市  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 民間企業と業務連携(再委託)</li> <li>● 計5中学校、5部活動を地域移行</li> </ul>              |
| 泉大津市 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 総合型地域スポーツクラブOZUSポと業務連携(再委託)</li> <li>● 計3中学校、2部活動を地域移行</li> </ul> |

※今後、内容が変更される場合があります。

● 内容の充実

・生徒の多様なニーズに応じた取組みとして、生徒の志向や体力等の状況に適した野球に親しむ機会の確保に取り組む

【地域クラブ活動】富中野球クラブ（仮称）

✓ 【体験教室】潜在的な野球ニーズへの対応



【学校概要】

- 明治34年(1901年)に大阪府第八中学校として開校(同年6月に大阪府立富田林中学校と改称)
- 120年の歴史と伝統のもと、さらなる発展を願い、平成29年4月に大阪府立として初の中高一貫校となる
- 府内全域から入学志願が可能(本人及び保護者の住所が府内にある者)

【中学校設置部活動(運動部)】

男子バスケットボール、男子ソフトテニス、女子バレーボール、バトントワリング、サッカー、女子硬式テニス、陸上競技

◀(参考)高等学校設置部活動(運動部)▶

サッカー、硬式野球、陸上競技、硬式テニス、ソフトテニス、男子ハンドボール、女子ハンドボール、ラグビーフットボール、水泳、男子バレーボール、女子バレーボール、バドミントン、男子バスケットボール、女子バスケットボール、剣道、卓球

【背景】

- 中学校・高等学校ともに設置している部活動については、共同体制にて運営・活動
- 野球をしたいと考えている生徒は一定数存在していると考えられるものの、中学校では設置していない状況がある

潜在的ニーズへの対応&活動機会の確保策として

富中野球クラブ(仮称)の設置に向けて



◀活動場所(使用許可)▶

大阪府立 富田林中学校

【体験教室運営】富田林高等学校野球部OB会

- 地域クラブ活動として令和7年度以降の自立的な常設をめざす
- 中学校在籍生徒のニーズの把握をはじめ、運営団体としての適切な規模や持続的に活動することを前提とした収支構造の検証等を事前に行うために、まずは体験教室として休日に計11回開催予定
- 併せて、富田林中・高等学校在籍教員で休日の地域クラブ活動に従事することを希望する教員の把握・兼職兼業について検証

【体験教室開催】

5月～3月(休日)の計11回(募集:校内チラシ等にて周知) ※1回あたりの活動時間は3時間まで(府方針遵守)

【運営団体検証】

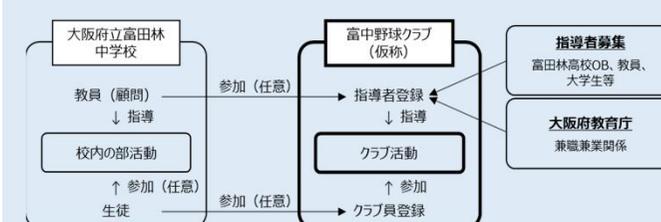
生徒のニーズ、OB会(運営組織の確立)、大学生等を含めた地域クラブ活動の指導者確保方策

【収支構造検証】

◀収入▶参加者(生徒)数等に基づく適正な受益者負担額の算出

◀支出▶事務局運営・年間活動回数・活動範囲等を含めた持続可能な活動の展開に必要な経費の算出

<イメージ>



※今後、内容が変更される場合があります。

- 地域団体との連携を強化し、休日の部活動の地域移行を進める。
- 教職員の兼業兼職や保護者負担等の課題整理及び解消を進める。

合同ラグビー部×豊中市ラグビーユニオン

☑ 合同ラグビー部の休日活動の地域移行



【活動概要】

- 平日はラグビー部のある学校のみ単独で活動
- 休日は拠点校（第十二中学校）で専門的指導のできる指導者の下、活動

【背景】

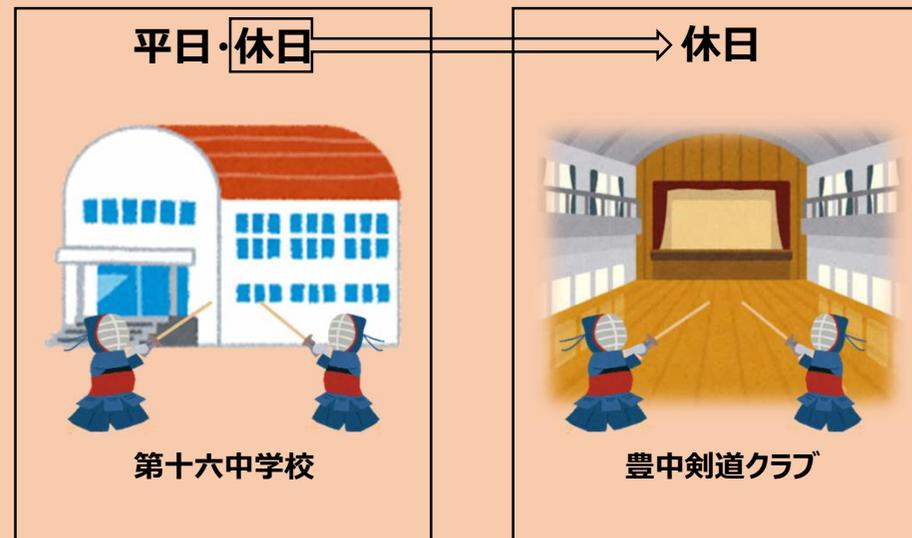
- ラグビー部のある学校には専門的な指導をできる顧問がいない
- 地域にラグビーユニオンという団体があり、ラグビーを指導できる人材がいる

豊中市ラグビーユニオンについて

- 地域におけるラグビーの普及と振興を目的に設立された団体
- 豊中ラグビースクール等の団体が加盟しており、幼年から高齢者まで多世代のラグーマンが在籍
- 令和5年度同事業から指導者派遣型体験会や市主催ラグビー体験会に指導者を派遣しラグビー部の地域移行へ協力

十六中学校×豊中剣道クラブ

☑ 剣道部の休日活動の地域移行



【活動概要】

- 平日は第十六中学校で単独で活動
- 休日は豊中剣道クラブとして活動

【背景】

- 専門的な指導のできる顧問がおらず、剣道部の廃部・縮小が増加
- 豊中剣道クラブは2015年に発足以来、多くの中学生を受け入れてきた。

豊中剣道クラブについて

- 剣道を通じた人間形成（中学生の健全育成）を目的に設立された団体
- 剣道部の所属に関わらず市内の中学生が剣道クラブに所属
- 現在は主に武道館ひびきにて活動
- 令和6年度より地域クラブとして大阪中体連の大会に参加予定

- 将来の完全地域移行を見据えて、部活動の受け皿となる地域クラブを拡充する
- 「協議会」を設置し、地域移行の方針を策定する



### 池田市の背景及び取組み方針

#### 【背景】

- 5中学校あり、運動部は56部活動が設置されているが、少子化が進んでおり、今後、現状の部活動を維持することが困難になると予想される。
- 教員の意識調査では、地域移行に対する賛意が8割、顧問に就きたくないという回答が6割。
- 部活動を指導する人材の確保が困難。
- 本市は比較的市域が狭いことに加え、すでに中学生を対象とした地域クラブがあった。

#### 【取組み方針】

このまま部活動を学校で維持し続けるのは困難であるため、部活動の受け皿となる地域クラブを育成し、生徒が地域クラブでスポーツ活動を行う方向で制度設計を進める。

### 取組み内容①地域クラブの拡充

#### 【活動実績・概要】

- ・週2回（平日1回・休日1回）の夜間に活動枠を設け、スポーツクラブの運営を委託する
  - ・場所は学校の体育館で行うが、鍵の開け閉め等の施設管理は受託者で行う
  - ・受託者は参加者の受付や保険加入などの事務も行う
- ※学校の部活動は並行して行われている

#### <令和4年度>

- 地域クラブ活動を2団体へ委託
  - ・NPO法人OctJapan（バスケットボール）
  - ・バレーボール協会



#### <令和5年度>

- 地域クラブ活動を5団体へ委託  
令和4年度実施2団体 +
- ・池田市剣道協会
- ・池田市卓球協会
- ・（一財）みどりスポーツ財団（ダンス）

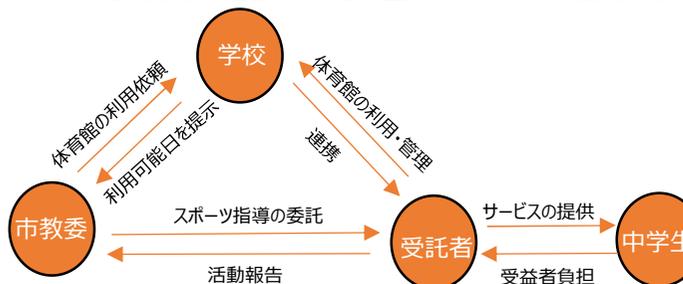


#### 【課題】

- ・平日の学校における部活動と地域クラブ活動の在り方の整理が必要
- ・受益者負担は必須⇔保護者の理解が不可欠
- ・屋外の活動場所の確保が難しい（特に冬季）

#### 【活動・団体運営のポイント】

- ①「特色あるカリキュラムで、中学生は誰でも参加」
  - ・本市の中学生がだれでも楽しく参加できるスポーツ活動を前提に設計
- ②「持続可能な地域クラブ団体の運営」
  - ・将来的な自立自走を目的として、ヒト・モノ・カネを自主管理（6年度より一部受益者負担）
  - ・事故防止の徹底、体罰・ハラスメント根絶の取組み
  - ・学校教育活動ではなく、社会教育活動・生涯スポーツの一環として活動



#### <令和6年度>

- 地域クラブ活動を9団体へ委託  
令和5年度実施5団体 + 4団体を公募予定

### 取組み内容②地域移行方針の策定について

#### 【活動概要】

- ・「協議会」を設置し本市の地域移行の方針を策定する  
想定参加メンバー  
教育委員会／中学校・小学校／地域クラブ／PTAなど

#### 【活動経歴】

<令和5年度> 中学校・市教委・地域クラブで意見交換を行う連絡会を組織。  
課題を話し合い、地域移行に関する大まかな方針を作成



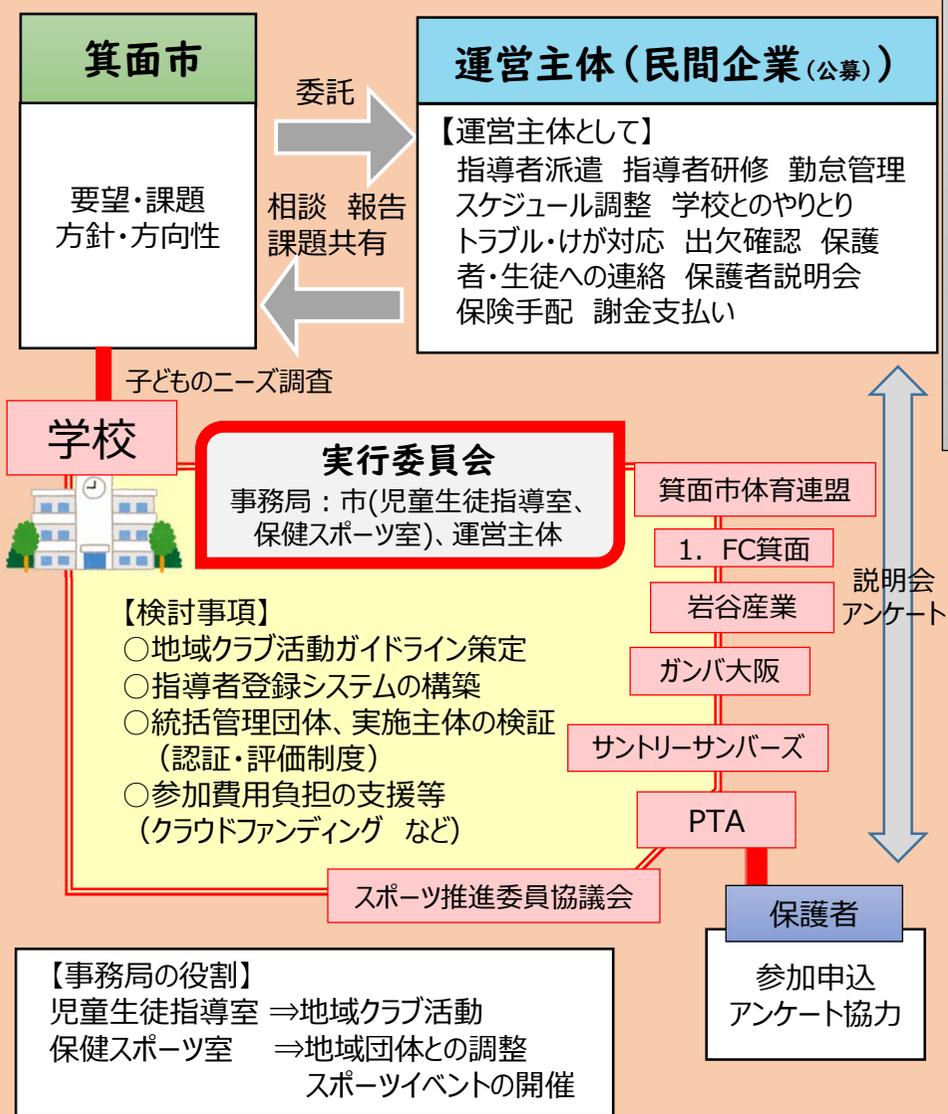
#### 【協議事項（案）】

- ・現行の部活動の取り扱いについて、廃止も視野に入れた議論。
- ・地域クラブがどれだけ確保できるのか。それぞれの競技の設置クラブ数の検討。  
教員が地域に出て指導する際の兼業兼職の取り扱いについて（現状は個別対応）
- ・受益者負担の設定について、目安の共有。
- ・中体連などの大会参加について検討。
- ・活動場所の調整方法について、特にグラウンドで実施する競技について検討。

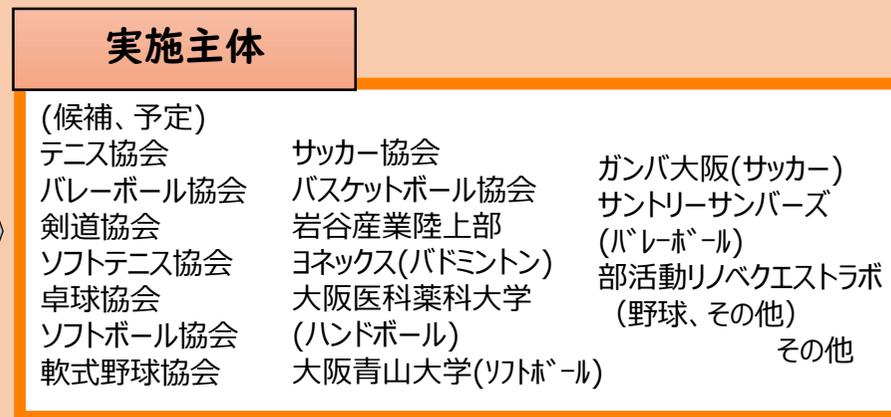
- 運営団体・実施主体が運営管理を担うための持続可能な環境整備
- 子どもたちの活動機会の確保



### 実行委員会における検討及び運営体制整備



### 市域内全8中学校における地域クラブ活動の実施



### 令和5年度

市域内全8中学校で  
実証事業を展開

休日に実施している全競技を  
体育連盟・民間企業と数回ずつ実施

### 令和6年度

引き続き市域内全8中学校で  
実証事業を展開

大会引率を含めた休日の地域  
クラブ活動を体育連盟・  
民間企業と実施(予定)、多く  
の競技で休日の全活動の地域  
移行に向けて検証



※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

# 守口市(継続)

## 令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業

- 地域人材を確保・マッチングする仕組みの構築
- 生徒・教師にとって望ましい持続可能な運営団体の確保



### 八雲・第一 × リトルFC

#### ✓ サッカー部における休日の地域移行(継続)



##### 【活動概要】

- 両校とも平日は学校部活動を継続
- 休日を地域スポーツ活動としてリトルFCへ移行  
・活動は八雲中グラウンドにて合同実施

##### 【背景】

- 両校ともサッカー指導可能教員の確保難
- 両校とも教員の時間外勤務の多くが週末の部活動
- 八雲中は、近年生徒数の減少が顕著で、部活動の数や種目を縮小しているところであった

##### 休日の部活動の運営組織

**リトルFC**  
創部：1987年  
スポーツ少年団

- 休日の指導(運営・計画等)を担う
- 今後は平日の外部指導者としての指導者派遣や、教員の兼職兼業先として検討中
- 学校施設の利用を地域部活動の運営費に還元する取組みを検討

##### リトルFCについて

- 守口市で活動する幼児・小学生を対象としたサッカーチーム  
・市内幼稚園・保育園へのサッカー巡回指導も実施
- 指導者はJFA公認ライセンス等を保有

## 守口市地域運動部活動推進事業における 部活動検討委員会



市部活動検討委員会  
設置：2022年～

- 地域部活動の円滑な運営に向けた体制整備
- 学校-運営団体間の連携調整
- 地域部活動の方針等の策定 など

### さつき学園・第一・錦・樟風 × 守口市スポーツ協会 コスモスポーツクラブ

#### ✓ ソフトテニス・バスケットボール部(継続&拡充@コスモ)と卓球部(拡充@市スポーツ協会)における休日の地域移行



##### 【活動概要】

- 全校で平日は学校部活動を継続
- 休日を地域スポーツ活動としてスポーツ協会やコスモへ移行  
・活動はさつき学園体育館等にて合同実施

##### 休日の部活動の運営組織

**守口市スポーツ協会**  
MORIGUCHI SPORTS  
設立：2000年  
特定非営利活動法人

- 約4千名の会員、21競技団体で構成
- 本事業の拡充にあたり、参加団体の協力等を打診中

##### 休日の部活動の運営組織

**コスモスポーツクラブ**  
設立：1972年  
幼児活動研究会株式会社

- 指導者は所属社員
- 休日の指導(運営・計画等)を担う
- 学校施設の利用を地域部活動の運営費に還元する取組みを検討

##### 【背景】

- 全校で複数部活動において指導可能教員の確保難
- 全校で教員の時間外勤務の多くが週末の部活動
- さつき学園は、部活動指導を理由に後期課程の校内人事がしづらい状況がある

##### 特定非営利活動法人 守口市スポーツ協会の参加団体(競技名)について

- 軟式野球、ソフトボール、バドミントン、バレーボール、サッカー、テニス、ソフトテニス、卓球、インディアカ、グラウンドゴルフ、太極拳、クレー射撃、剣道、トランポリン、相撲、柔道、少林寺、フルコンタクト空手、バスケットボール、セーフティー空手道、ウォータースポーツ

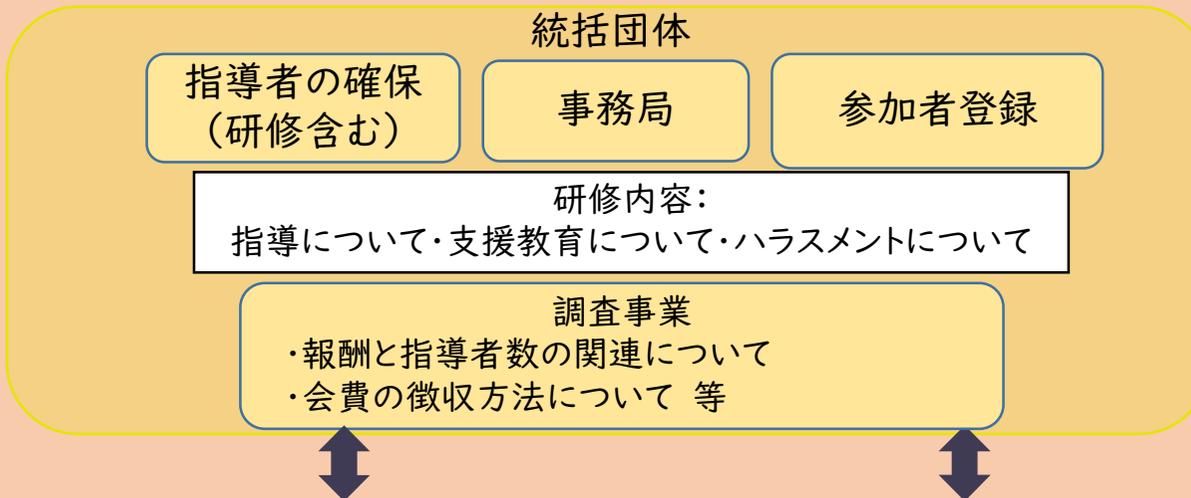
##### 幼児活動研究会株式会社コスモスポーツクラブについて

- 全国の幼稚園・保育園と、そこに通う児童を対象とする仕事を基幹事業とする会社
- 保育時間内の体育指導のほか、サッカー、新体操などの課外指導も行っている
- 指導者は当該種目の経験者(中には国体出場経験者あり)

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

- 生徒・教師にとって望ましい持続可能な運営団体の確保
- 生徒にとって望ましい学校外での体験機会の確保

ひらかたモデル策定に向けた試行実施



9月から実施予定

**① 統括団体によるクラブ運営型**

学校コーディネーター配置(管理責任)

休日 週1回3時間

ソフトボール クラブ 統括指導者 補助指導者 (2名体制)	女子バスケット ボールクラブ 統括指導者 補助指導者 (2名体制)	女子ソフト テニスクラブ 統括指導者 補助指導者 (2名体制)
---	---	---

拠点校: 招提北中学校

7月から実施予定

**② 自由体験型 地域部活動 (レア型)**

休日 週1日3時間

ダンスクラブ  
統括指導者・補助指導者  
(2名体制)

会場: 教育文化センター

めざす姿

- 少子化の中でも、将来にわたり、枚方市子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保
- 地域の持続可能で多様なスポーツ・文化芸術等に親しむ環境を一体的に整備し、子どもたちの多様な体験機会を確保

事業を通して解決すべき課題

- (1) 指導者の質の保障・量の確保方策 (教員の兼職兼業含む)
- (2) スポーツ施設の確保方策
- (3) 会費の在り方
- (4) 保険の在り方
- (5) 保護者・地域への周知方法について
- (6) 部活動に係る備品について
- (7) 新たな課題検証

枚方市中学校部活動の在り方懇話会

中学校部活動又は地域におけるスポーツ若しくは文化芸術活動の関係者の意見を聴取する。

年5回開催



※今後、内容が変更される場合があります。

# 大東市(継続)

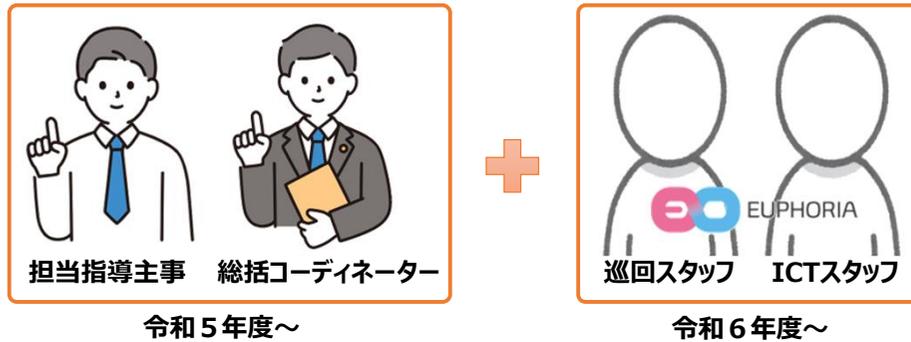
## 令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業

- 持続的かつ安定的な運営事務局体制の構築
- 生徒一人ひとりの多様なニーズに応じた活動機会の提供



### 「大東市部活動地域移行運営事務局」の開設

#### ☑ 事務局機能の充実と安定化(拡充)



#### 【活動概要】

- 担当指導主事と総括コーディネーターは運営事務局の総括、市立中学校（校長会）との連絡・調整、「部活動地域移行に係る意見交換会」（協議会）の開催等、今後の方向性を含めたシステムの構築やスキームの策定を担当
- 巡回スタッフとICTスタッフ（新規）は活動現場における情報収集（生徒・保護者・指導者）、連絡アプリの運用、広報活動等、現在の活動の円滑な運営に係る業務を担当

#### 【背景】

- 移行競技種目数の増加に伴う事務業務量の増大
- 今後の地域移行に関する丁寧なヒアリング・意見調整にかかる時間と労力の増加
- 生徒・保護者へのきめ細やかサポート体制の充実

#### 「大東市部活動地域移行運営事務局」の主な業務について

- 担当指導主事：運営事務局の総括、実証事業に係る業務、学校関係者や利害関係者との調整 等
- 総括コーディネーター：指導者の任用・研修、各種会議の企画・運営、学校関係者や利害関係者との調整 等
- 巡回スタッフ：休日の地域部活動の視察、生徒・保護者・指導者からのヒアリング 等
- ICTスタッフ：連絡アプリの運用、広報活動 等

### 三クラブ三様な取組みー剣道・水泳・バスケットボール

#### ☑ 剣道部(継続)と水泳部(拡充)における休日の地域移行バスケットボールスクール(拡充)の新設



#### 【活動概要】

- 全校で平日は学校部活動を継続
- 令和5年度より剣道部の休日部活動を地域へ移行、東西4校ずつ2チームを編成
- 令和6年度より水泳部の休日部活動を地域へ移行、学校施設や近隣の水泳施設を利活用した活動を実施
- 令和6年度よりバスケットボールスクールを新設、市内府立高校を活動場所とし、市内にある大学から指導者を派遣

#### 【背景】

- 子どもたちの多様なニーズに応えた部活動の在り方の模索の必要性
- 専門的に指導できる顧問教員の不足、教員の負担軽減（剣道部・水泳部）
- 中体連主催大会参加のみを希望する生徒の受け皿の確保（水泳部）
- 学校に当該部活動がない生徒に対する受け皿、部活動を通じた地域の活性化（バスケットボールスクール）

「三クラブ三様」-その1  
 大会出場を目的とする  
 地域クラブ活動  
 (剣道部の移行)

「三クラブ三様」-その2  
 大会出場とレクリエーション  
 を兼備した地域クラブ活動  
 (水泳部の移行)

「三クラブ三様」-その3  
 レクリエーションや個人のスキルアップ活動  
 (バスケットボールスクール)

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

- 地域の実情に応じた多様な地域クラブ活動のモデルの構築
- 指導者の質の保障、適切な指導の実施、指導者の質の確保に関する方策の検証



第四中学校×門真市の地域活動団体

運動部活動における休日の地域移行（モデル校区を設定し休日の地域移行を段階的に推進）



**【活動概要】**

- 平日は学校部活動を継続
- 休日を地域スポーツ活動として段階的に移行
  - ・基本的に会場はモデル校となる第四中学校を使用

**【背景】**

- 教員の時間外勤務の多くが週末の部活動
- どの中学校でも生徒数・教員数の減少が大きく、部活動の維持が困難
- 専門的な指導が行える部活動顧問も少なく、大会等での審判などが精神的負担となっている。

関係協力団体

**門真市軟式野球連盟**

門真市に在住・在職している社会人を中心として、軟式野球を通じて地域社会やメンバーの親睦とアマチュアスポーツの健全、発展を図ることをも苦役に活動している。

**クラブチーム「クローバー歯科」**

日本卓球リーグ実業団連盟に所属するクラブチーム。  
令和4年度には全日本実業団卓球選手権を制覇するなど、積極的に活動している。

**バドミントン教室「Y・Bears」**

初級者から中級者の大人対象のバドミントン教室であり、実業団や全国大会などで活躍した経験豊富なコーチが指導を行っている。

**「子どものバスケ教室 コドバス」**

バスケットボール大好き芸人田村裕さんプロデュースのバスケットボールスクール。バスケットボールを通してのスポーツの楽しさ、努力の大切さ、礼儀礼節など、様々なことも教えてくれる団体。

**門真はすねクラブ**

門真市初の「総合型地域スポーツクラブ」として設立され、子どもから高齢者に対して、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツ活動に参加できる環境をめざし、健康で活力ある地域づくりに寄与することを目的とする。

その他 連携が必要な活動団体

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

### ◆合同チームをベースとした休日の地域移行の検証



#### 【活動概要】

- 1つの学校に集まり合同で活動しているサッカーと軟式野球で、1クラブずつ実施
- 平日は、学校部活動を継続し、休日は、指導者2名を配置のうえ、学校管理外の地域クラブ活動として実施
- 実証事業を実施する学校において、休日の指導も希望する教職員は、兼職兼業の許可を得たうえで、運営団体となる民間事業者の管理下で、報酬を受けて指導に従事

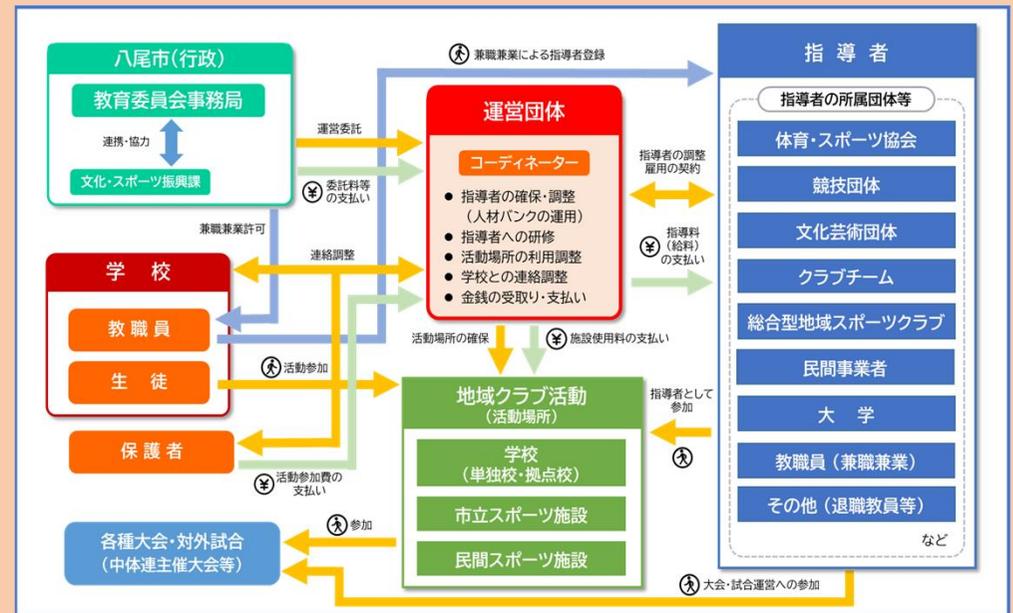
#### 【背景】

- 少子化による影響として、既に、運動部において単独校ではチームが組めない状況が生じている。
- 生徒のニーズとの乖離として、生徒が望む種目をすべて設置できてはいない。
- 教職員の負担と指導者の不足として、指導に関わることを負担と感じている教職員が8割程度存在することや指導者数が不足している。

### ◆運営団体の整備に向けた検討及び多様な人材を受け入れるための仕組みづくりの検討

- 将来的な運営団体の設置と自走化に向けた持続可能な運営体制の検討
- 地域の人材の活用や大学等とも連携を図りつつ、個々の活動の状況に応じて適切な指導者を安定的に配置できるよう、多様な人材を受け入れるための仕組みづくりの検討

将来的な運営体制のイメージ (案)



#### 検証・検討内容

- 活動日の課題検証 (休日における環境整備に向けてモデル事業を実施し、平日実施の課題も抽出・検討)
- 教職員(顧問)と指導者との連携や指導の役割分担の検証
- 教職員の兼職兼業の運用についての検証
- 運営団体の整備に向けた検討
- 多様な人材を受け入れるための仕組みづくりの検討
- 事業費についての検討 (事業費の試算、受益者負担をはじめとした財源確保策の検討) など

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

- 学校部活動にはない地域クラブ活動の実施
- 地域クラブ活動の自立・持続的運営方策の検証

**(地域における現状・課題)**

- ① 運動部活動の顧問について、なり手不足や技術指導できる人材不足及び多忙化の問題
- ② 部活動未加入者など、運動機会の少ない生徒を対象にした運動機会の増加を図る必要性
- ③ 既存部活動の合同部活動実施に向けて、市内中学校の現状や大会出場資格などに合わせた仕組みを構築する必要
- ④ 地域スポーツとして活動した場合の財政基盤、活動場所等を構築する必要性

**(取組概要)**

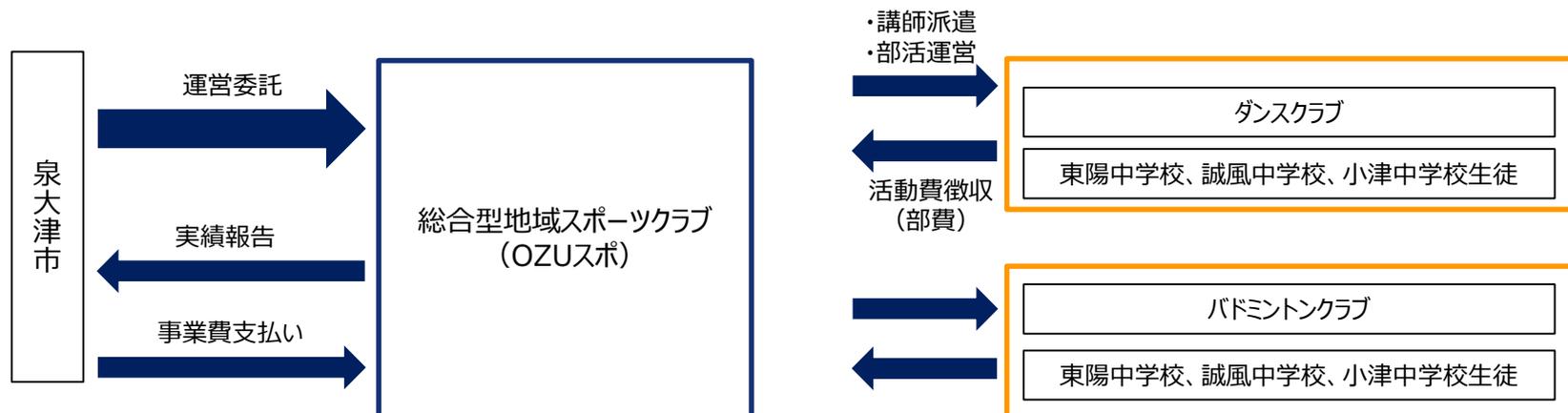
実施校：東陽中学校、誠風中学校、小津中学校  
 活動場所：旭小学校体育館、泉大津市立総合体育館、ほか  
 指導者：総合型地域スポーツクラブ（OZUSポ）指導者、派遣講師  
 移動手段：徒歩、自転車

活動種目：ダンス、バドミントン  
 部費：月1,000円  
 保険：年800円

**(実証事業において取り扱う観点)**

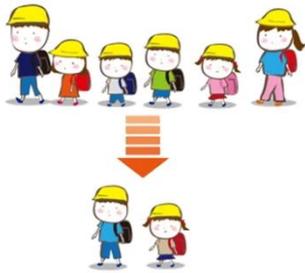
- 地域のスポーツクラブが持続的に活動することを前提とした仕組みづくりとして、受益者負担や行政による公的支援等を行うことによって推進させる仕組みづくりの構築検討や取組等の状況を把握するとともに、必要な指導助言を行う。
- 将来的な枠組みや支援方策の検討等を視野に入れて、地域クラブ活動の運営や指導者配置等に必要コストを検証するとともに、こうしたコストをどのように賄っていくかについて受益者負担等と公的資金との適切なバランスも含めて収支構造を検証していく。

**(運営体制図)**



- 指導者の質の保障、適切な指導の実施、指導者の質の確保に関する方策の検証
- 地域クラブ活動を支える人材育成や仕組みの構築

課題 ①



人口減少に伴い、中学校の生徒数・部活動数も減少し、1中学校単位での試合出場が困難。

課題 ②



地域クラブ活動実施にあたり、地域に配置する指導者が不足。

令和5年度実証事業の課題



部活動顧問の先生

前年度の実証事業において、指導者派遣から地域クラブ活動への移行を試みたが、顧問の先生から、トラブル対応等に不安があり、学校からの切り離しがうまくできなかった。

任せられない！  
フェードアウト  
できない！

指導者派遣から地域移行



令和6年度取組概要

芸能部(ダンス)における休日の地域移行(拡充)



桜台中学校

S54.9.26創立



特定非営利活動法人  
FC岸和田

H14年設立  
H15.3.12NPO法人格取得  
理事長 河内 賢一

地域クラブ活動関係者間の情報共有を図る



部活動顧問の先生

情報共有を密に

- ・指導方針の打合せ
- ・平日と休日のバトンタッチ
- ・トラブルの未然防止
- ・トラブル対応の伝授 etc



指導者  
FC岸和田

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。



【概要】民間企業が管理運営を行う地域クラブ活動に移行するため、文化芸術に関する「吹奏楽部」及び、「ダンス部」の2つの文化部について、地域移行に向けたモデル実証事業を実施する。

課題①

【子ども】

- ・参加したいクラブがない
- ・専門的な指導を受けたい



【教師】

- ・時間外勤務による負担
- ・技術的な指導の問題
- ・教員の人事異動により継続的な指導が困難

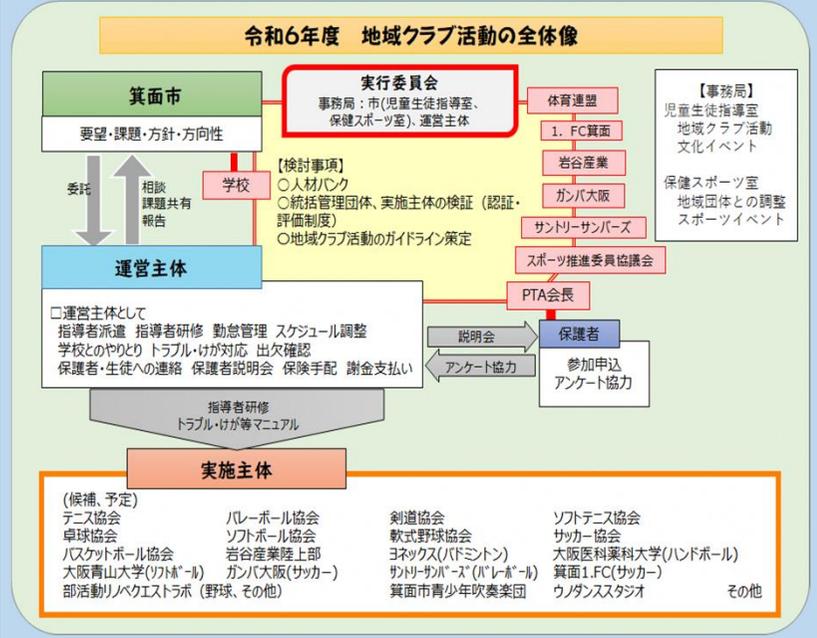
課題②

【実施上の課題】

- ・実施主体の確保
- ・人材の確保
- ・指導者との連絡調整
- ・子どものニーズ調査
- ・持続可能な統括管理団体
- ・高校、大学、地域との連携



地域クラブ活動実施体制



2つの文化部にてモデル実施



箕面高等学校と  
合同練習

吹奏楽



(連携先：箕面市青少年吹奏楽団)

ダンス



(連携先：ウノダンススタジオ)

取組方針・取組概要

- ・運営主体を民間企業に委託して文化芸術クラブの運営管理の検証を実施
- ・地域クラブ活動についてのホームページ作成
- ・指導者の人材バンクを構築し、指導者を確保
- ・参加者負担を含めた資金調達方法の検討



● 生徒が多様な文化芸術に親しめる環境の構築

【概要】 市内全8中学校の希望生徒に対し、休日のみ2週間に1回(3時間)程度、地域人材を活用した「メディア部」及び、将棋やけん玉などの日本の伝統文化に取り組む「Cool Japan Club」の2つの文化部について、地域移行に向けた実証事業を実施する。

課題①



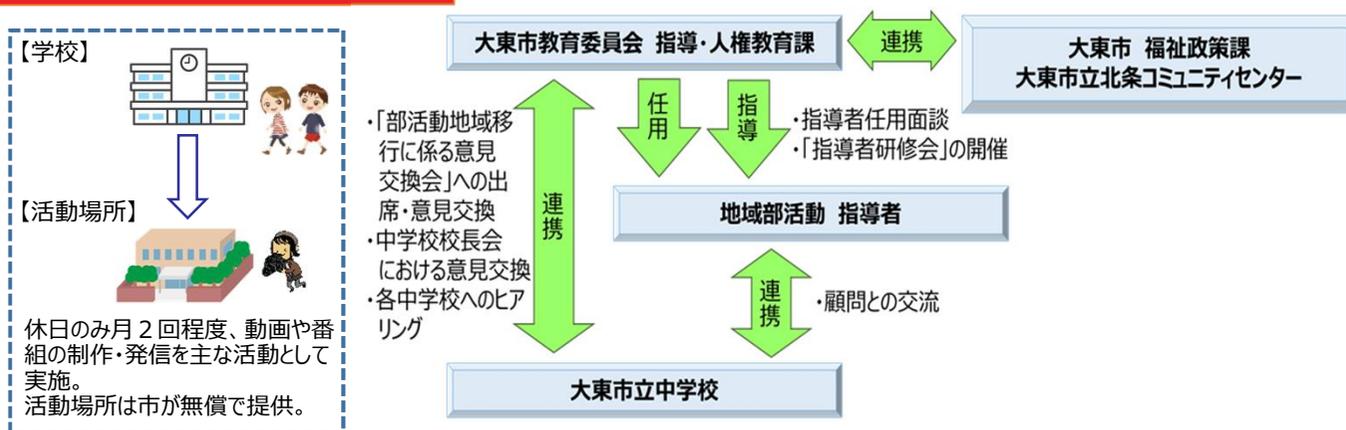
年度途中で指導者が辞職したり、新たな指導者を任用したりするケースが複数回あり、安定した指導体制を構築することが困難であった。

課題②



運営事務局体制の構築についての課題がある。

取組内容



- ・ICTを活用し、指導者同士、指導者と生徒とのコミュニケーションをDX化し、円滑な連絡体制を構築。
- ・近隣の高校、日本将棋連盟関西本部など関係団体と連携し指導者の確保に努める。
- ・巡回スタッフの増員により、活動状況の視察や意見聴取の実施など、運営事務局機能の充実を図る。
- ・活動場所及び付属設備を市の協力で無料借用し、継続的な活動場所を確保。
- ・人材バンクを活用するとともに、指導者は学生時代に声優を専門的に学んだ方や、地域人材や将棋・けん玉の有段者を任用する。

連携先



(緑風冠高校)



(四條畷学園高校)  
(四條畷学園短期大学)



<行事等を通じた連携・交流を図る>

- ・中学生が考えた企画を高校生が実践
- ・高校生とのコラボレーション動画制作
- ・大学部活動との共同企画制作 等

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

- 生徒・教師にとって望ましい休日における部活動指導の地域移行をめざす

【概要】 門真市民文化会館「ルミエールホール」の指定管理者であるトイボックスと委託契約を締結し、門真市吹奏楽団や、関西フィルハーモニー管弦楽団に講師を依頼し本格的な指導を受けられる体制を整える。

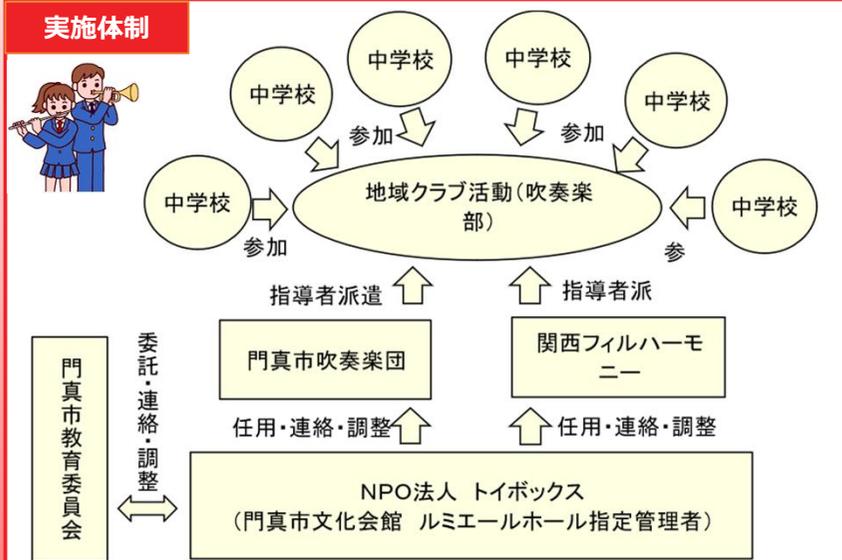
### 背景

- 生徒数の減少に伴い教職員数も減少し、吹奏楽部は6中学校のうち、3中学校のみとなっている。
- 部活動指導の専門性に関する課題等も大きくなっている。
- 顧問をすることに重荷を感じている教員も少なからずいる。

### 取組方針

- 市内全中学校生徒を対象に、吹奏楽部の休日の地域移行をめざす。
- 平日には運動部に所属する生徒が、休日には文化芸術活動に参加できるような、複数分野への参加やインクルーシブな活動を実施。
- 所属中学校の部活動の有無にかかわらず、休日に専門的な指導を受ける機会の確保。

### 実施体制



### 【課題】

- ・指導者や練習場所の確保
- ・活動場所までの移動に関する保険加入事務手続き
- ・大型楽器の搬送
- ・受益者負担
- ・協賛企業
- ・指導者と日時等の調整
- ・持続可能な運営方法の検討 など



### 連携先



(関西フィルハーモニー管弦楽団)

(門真市民吹奏楽団)

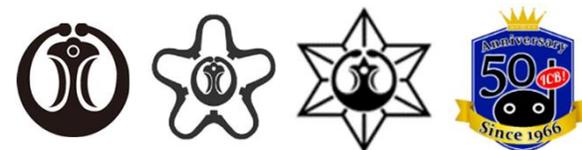


### 検証・検討内容

- 実証事業に参加する生徒・保護者へのアンケート実施による事業に対する肯定的回答の割合
- 実証開始以前と実証開始後の部活動顧問の時間外在校時間の減少
- 地域の力を活用し、持続可能な指導体制の構築し、教職員の負担軽減につながるか検証 など

※令和5年度末時点で作成したものであり、今後、内容が変更される場合があります。

- こどもたちの多様な経験・機会確保
- 部活動に係る教職員の負担軽減



【概要】部活動（吹奏楽部）を民間団体に委託し、子どもにとってよりよい形での地域移行をめざす。  
また、指導者の資質向上や受益者負担についても検討し、双方の責任を明確にする管理運営の在り方を検証する。

### 課題①

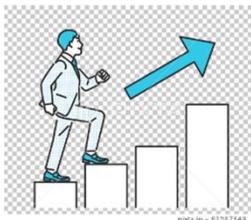
(指導や練習の在り方)



指導や練習の在り方について、保護者や教員への説明や共有が必要。

### 課題②

(指導者の技術力向上)



指導者が研修会に参加するなど、技術力向上のための方策が必要。

### 課題③



公費を含めた費用負担について検討が必要。

## 取組概要

### 【泉大津市教育委員会】



- ・学校と吹奏楽団との連絡調整  
(活動場所・使用物品・活動日程 等)
- ・実施における課題や検討事項の整理
- ・公費を含めた費用負担の検討

### 【誠風・小津中学校】



- ・使用物品の確認



- ・活動場所の提供



- ・生徒、保護者への連絡
- ・費用負担

### 【泉大津市吹奏楽団】



- (事務局)
  - ・市との連絡調整
- (指導者)
  - ・指導者の派遣

実証事業で把握した課題や成果を市内で共有し、市内他2中学校でも地域移行を推進する。